

月報 2025 年 9 月 30 日 NO415

9 月号



石城山岳会事務局編集

9 月登山教室「月山」

9 月月例山行 栗駒山周回

9月登山教室「月山」

2025年9月20日～21日

参加者 教室生（7名） 志賀・佐藤・矢内・鈴木・吉田・久保田・長谷川
会員（8名）須藤・秋葉・渡邊・山中・青天目・赤塚・安部・比佐

水石トンネルを予定通り5:30出発。雲行きが怪しい中、目的地を目指し動き出す。途中休憩を挟みながら到着間もない頃、突然比佐車から連絡が「車の調子がおかしい」とりあえず、だましだまし車を走らせ湯殿山神社に到着。全員到着したものの車の修理のため比佐さん、志賀さんが無念の離脱、ディーラーへ向かうことに。二人をのぞく全員が姥沢行きバスに乗車。9:40頃姥沢バス停到着。

リフト乗り場に向かう道はガスガスで思ったより冷える、リフト料金所脇の掲示板には「本日の月山 低体温症に注意」の文字が、手持ちの装備に多少の不安がよぎる。約15分でリフト上駅に到着すると「熊がいます近づかないでください」の看板が目に入る、これがこの先、先輩方の身に起こることになるとは予想できませんでした。

10:20 3班編成で行動開始。自分が先頭を任されることになり上り始める。以外に先頭は調子がよろしいことにき気づく、自分のペースで登れるからなのかと思いながら先へ進む。天候も次第に悪くなる予報のため、ゆっくり正確に進むことを心がけるも標高が上がるごとに風が強くなってくる。下山中の方に声をかけてみると「頂上は強風ですよ」との返事が帰ってくる。気を引き締めて行こう！12:00を少し過ぎた頃頂上到着。聞いていた以上の爆風、何とか写真を撮り早々と退散し頂上小屋へ避難、昼食を取ることにする。そして、天候回復も見込めない中、清川行人小屋を目指し出発。気持ちは早く小屋について一杯やりたいところだが行程はまだ半分ほど、今度は岩礫帯の下りが続く、滑りやすく慎重に足を進めると雪渓が現れる。近くで確認すると下部は空洞クレバス状態、先輩方が慎重に渡れる場所を探り無事乗り越えることができ一安心。さらに足を進めて行くと、小屋への分岐を過ぎた辺りだろうか何か音や声が聞こえてくる「ピーピー」「ドンドン」「ワーワー」何か騒がしい呼んでいるのかと思いこちらも「おーい」と返すが静まり返る。秋葉さんが会員だから大丈夫だということで先行して進む。15:00頃小屋に到着、荷をおろし小屋の掃除や夜の準備を始めるが、後方の先輩方がまだ来ない。 少し心配しながらも準備



を進める。そんな中30分程遅れて先輩方の到着、話によると小熊の声が近づいてきて先に進めず何度も上り下りを繰り返したそうです。先ほどの音や声は熊を遠のけるためだったらしい。とにかく何事もなく幸いでした。全員が揃ったところでお楽しみの始まりです疲れた体を酒と食事で癒していきます。やはり話題は小熊の話。聞けば鳴き声は猫のような声で鳴くらしく自分たちには想像ができません。後にYouTubeで確認すると、確かに自分たちが思っている熊の声とは全然違います、生徒だけだったら判断できなかったことでしょう。酒が進み夜が更けてくると皆さんいい感じに出来上がってきました。小屋泊では遅めの21:00ごろ就寝。管理人の居ない小屋ならではの自由で贅沢な時間を過ごして無事1日目の終了です。「おやすみなさい」



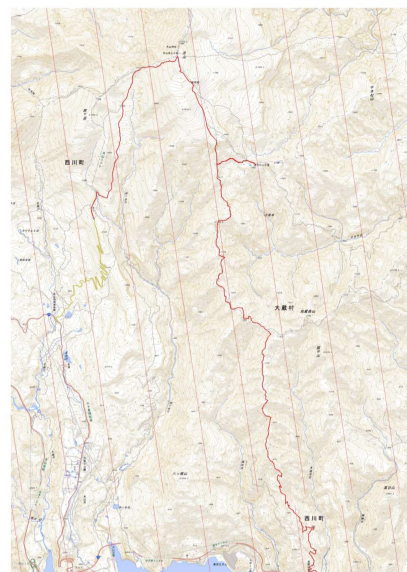
「おはようございます」本日は6:00出発予定。皆さん早めの起床でゆっくりと朝食をいただくことに、外を見ると昨日よりも悪天候の様で気が滅入ります。朝食とコーヒーで気持ちを切り替え出発準備。天候の状況を確認すると回復の見込みは昼ぐらい、悪天候の中、覚悟を決め予定より遅めの6:40出発。本日は雨風のなか約5時間程ひたすら下る行程。同じような景色と緩やかな下りが延々と続くなか忍耐が必要な行程となる。ひたすら下り続け12:00前に湯殿山神社に無事到着。そこには車の修理のため離脱していた比佐さんと志賀さんが笑顔で迎えてくれました。待っててくれる人がいるのはうれしいことですね。全員が下山したところで道の駅にしかわへ向かいます、温泉と下山飯を十分に楽しみ帰路へとつきます。天候には恵まれませんでしたでしたがその分色々勉強することが多い山行となりました。

(文責 長谷川)

コースタイム

【1日目】9:45 姥沢バス停⇒10:05 リフト下駅⇒10:25 リフト上駅⇒12:05 頂上小屋⇒12:15 月山頂上⇒13:00 胎内岩⇒15:00 清川行人小屋(泊)

【2日目】6:40 清川行人小屋⇒11:45 湯殿山神社



9月月例山行 栗駒山周回

2025年9月26日・27日

参加者 菊地、柏村、赤塚（園）、佐藤（幸）、佐藤（秀）、猪狩、
鈴木（彩）、松崎、佐々木、安部、矢内、国井
ゲスト 姫路支部長 小林夫婦

9月の月例山行は、栗駒山へ行ってきました。参加者は12名ですが、姫路に引っ越された小林さん夫婦が特別参加されました。

1日目は、須川温泉登山口から笹森避難小屋で荷物をデポして東栗駒山に登り、笹森避難小屋に泊まる計画です。登山口についたところ小雨がぱらついていたので、雨具を着て出発しました。小雨はほどなく止み、青空も見えてきました。2時間30分位で笹森避難小屋へ到着。笹森避難小屋は、2階建てでとてもきれいなところで約30名は泊まれるかと思います。ここで昼食をとって荷物をデポして東栗駒山へ出発。1泊とまりの荷物が背中にないと楽に登れます。1時間位で東栗駒山へ到着。この日は風が強く、山頂にとどまっていられないくらいでしたので、集合写真を撮って早々に避難小屋へ戻りました。山頂から栗駒山周辺を見ると結構、紅葉されていました。



避難小屋へ戻ると埼玉や山形などからのグループ6人が来ました。今夜は、このグループと合わせた20名での小屋泊となりました。それぞれに宴会をして早々に就寝となりました。

2日目は、6時30分に出発して栗駒山から秣岳を目指します。前に日帰りで来たときは、急登でつらいと思ったのぼりも今日は楽に登れました。7時40分には山頂へ。快晴に恵まれました。鳥海山や月山、早池峰山など周り山も綺麗に眺められました。朝早くにも関わらず多くの方が登ってきてました。一休みして秣岳へ向かいます。一人が体調が悪く遅れぎみですが、何とか遅れても登ってきてます。秣岳への登山道は、ぬかるんでおり歩きにくいですが、草紅葉があり、栗駒山を振り返るときれいな紅葉が眺められます。紅葉に力をもらって先に進みます。何回かピークを過ぎると秣岳山頂です。小屋で一緒だったグループがお昼を取ってました。秣岳からの下りは、急なので転ばないように注意して下ります。秣岳登山口から須川温泉登山口までは舗装道路歩きが予定されてましたが、体調不良者のため、車を登山口まで持ってきた方がよいと思い、若い参加者が先に行って車を取ってくることでとなりました。このため、舗装道路を歩くことがなくなったので助かりました。全員が無事に下山して須川温泉で入浴していわきに帰ってくることができました。



同行してくれた皆さん、ありがとうございました。

（文責：国井）

【コースタイム】

1 日目 9:15 須川温泉登山口→9:42 名残
ヶ原→11:35 笹森避難小屋→13:30
東栗駒山→15:00 笹森避難小屋
2 日目 6:30 笹森避難小屋→7:44 栗駒山
→10:39 秣岳→12:09 秣岳登山口

